

学術情報システム総合WS グループ討論 (12/10)

国立情報学研究所

学術基盤推進部 学術コンテンツ課

高橋菜奈子

プレゼンテーション準備

今回の研修の位置づけ

7/12		9/12-13		12/10
集合研修	自館研修	集合研修	自館研修	集合研修
ビジョンを共有し、課題を発見する	課題解決のための調査を実施する	グループの課題解決のための計画を策定する	計画を実施する	成果の発表とフィードバック
研修の趣旨とゴールを共有し、当面の作業課題を設定する。	各グループ内で相談しながら、課題解決のための情報を収集する。	解決策を具体化し、その中で自分の役割と次の課題を明確にする。	各グループで相談しながら、計画を実行する。	成果を発表し、今後のことを考える

ワークショップの3つのルール

- ①全員が参加する。
- ②違う意見を尊重する。
- ③全員が平等である。

最後まであきらめずに考え抜きましょう！

最終報告会のカリキュラム（12/10）

10:00-10:30	30分	プレゼンテーション準備
10:30-12:30	120分	グループプレゼンテーション
12:30-13:30	60分	《昼食》
13:30-14:15	45分	全体討議：チーム1のレビュー
14:15-15:00	45分	全体討議：チーム2のレビュー
15:00-15:30	30分	全体討議：全体のまとめ
15:30-15:45	15分	《休憩》
15:45-16:45	60分	振り返り
16:45-17:00	15分	閉講式
18:00-20:00		《慰労会 & 反省会》

プレゼンテーション準備（20分）

- 全体でウォーミングアップ
- 一人一言：「今日の意気込み！」
- 同じグループの人（3人1組）でプレゼンテーション前の打合せを行ってください。

10時30分になったらはじめます！

グループ発表

グループプレゼンテーション (各60分)

- 1グループ45分(時間厳守)で発表してください。
- 質疑応答は15分です。

- 午後からもグループディスカッションは続きます。
- NIIの聴講の方からも質問をいただきましょう。

全体討議

今回のゴールと本当のゴール

今回

- グループプレゼンテーションをもとに、ワークショップ後に向けた議論を深めます。

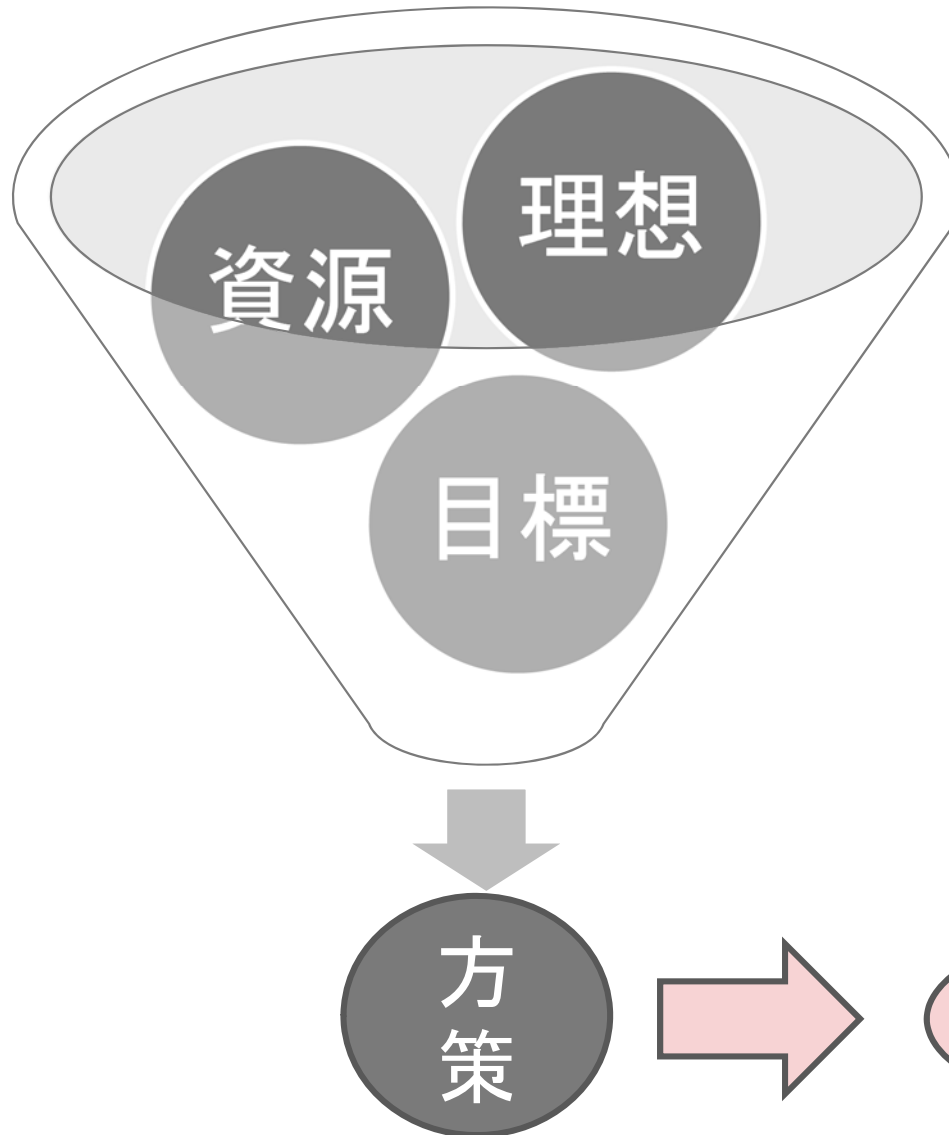
本当の最終目標

- グループごとにレポートを書ける程度の完成度を求めます。
(10,000字程度を目標に。)
- 実際にNIIの今後のサービスに取り入れることのできる情報を求めます。

全体討議：各グループの成果を生かすことを考える。（各40分）

- 中間報告会で立てた目標はどこまで達成できているか。
 - 1班: 私たちのチームは、12月までに、発見できない学術コンテンツの傾向を分析し、発見できるような提案をする。
 - 2班: 私達のチームは、12月までに、NCIDに対応するデジタル化資料のIDマップを作成し、CiNii Books からデジタル化資料へのリンク形成のための情報を提供します。
- 課題と思っていた現実を動かすことができるか。
 - 他人はこの提案で動いてくれるのか。
 - 今後、現実のサービスに取り入れることができるか。
- そのために、まだ足りない部分はどこか。
 - まだ議論が不足していることは何か
 - まだ明らかでない点はどこか
- 自分たちはこれから何ができるか。

まとめ：私たちはどこまでできているのか？ (30分)



- 2つのチームの成果から何が言えるのか？
- 講師からの講評

振り返り

振り返り：本ワークショップの狙いは達成されたか？

個別の機関で解決不能な共通する課題について、連携・協力して取り組み、問題解決を図ることのできる総合力を養成する。

(『平成25年度教育研修事業要綱』より)

- 今年度のテーマ：デジタル化された資料の活用
- 電子図書館あるいは機関リポジトリ事業として各大学でデジタル化された資料について、紙媒体の資料と併せて活用することが望まれている。当面の課題として、例えば、各図書館でデジタル化された所蔵資料の把握や、適切な発見環境の整備などが挙げられる。
 - (1) デジタル化された資料の状況調査と組織化
 - (2) デジタル化資料のデータベース(NDL、HathiTrust等)と連携した検索環境整備

グループ討議：WSの振り返り（45分）

体験する

このWSで印象に残った点を思い出しましょう。
何をしたか？何を感じたか？
何を考えたか？を書きだします。

これから何に役立てることが
できるかを考えましょう。

次の行動
へつなぐ

分かち合
う

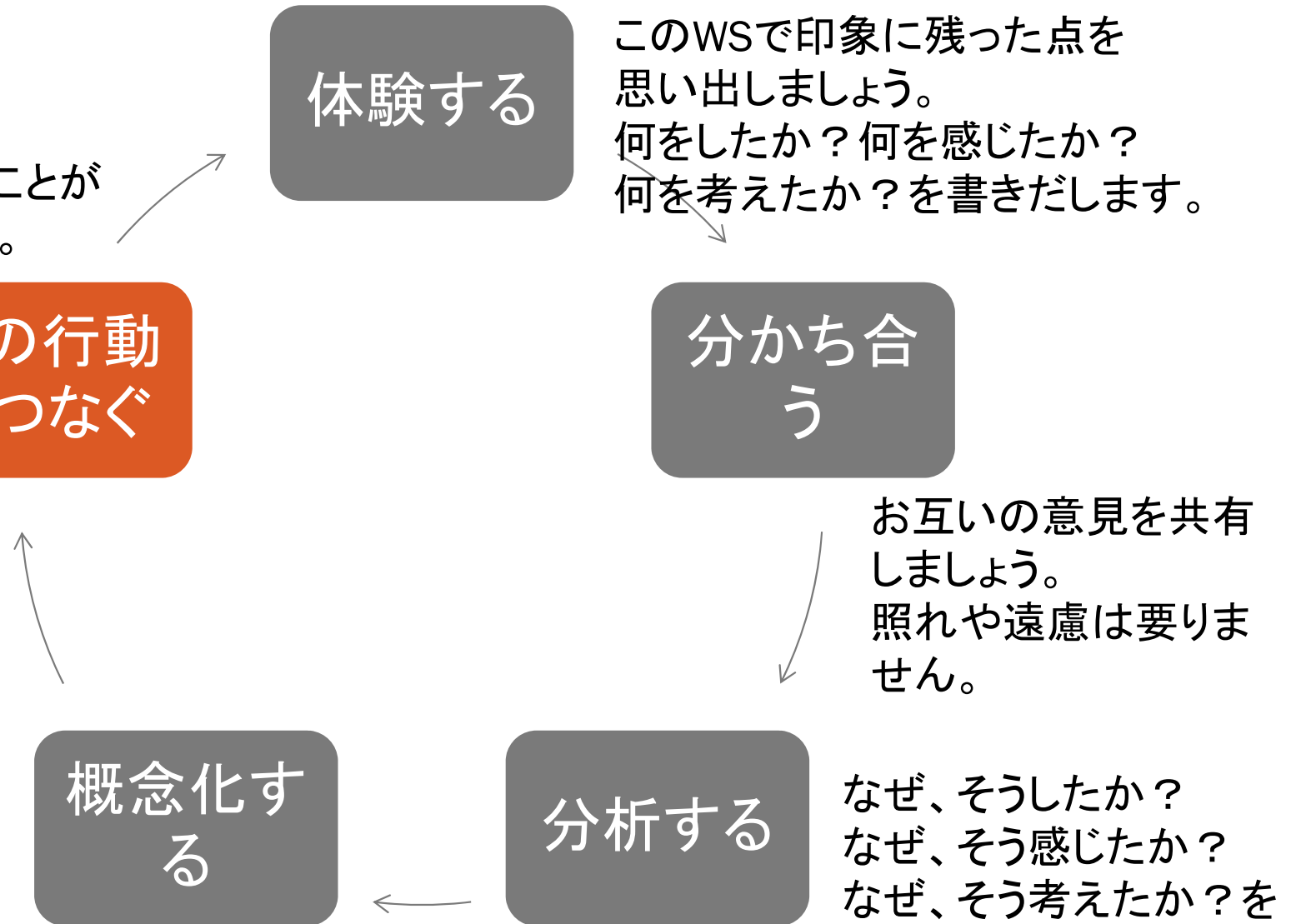
お互いの意見を共有
しましょう。
照れや遠慮は要りま
せん。

それが何を意味するか
考えましょう。
一般化することが
できるでしょうか。

概念化す
る

分析する

なぜ、そうしたか？
なぜ、そう感じたか？
なぜ、そう考えたか？を
解釈し分析しましょう。



まとめ：明日にむけての宣言（15分）

- これから何をどうしたいか、「明日にむけての宣言」を一人一文で書いてください。
- 全員（受講生・講師・オブザーバー）発表してもらいます。